

人権大学講座
2022.12.19

性的マイノリティが学校で経験する困難： 京都府・大阪府の小学校・中学校・高等学校調査 から明らかになったこと

世界人権問題研究センター
プロジェクトチーム4
「性的マイノリティと人権」
リーダー 風間孝(中京大学)
tkazama@lets.chukyo-u.ac.jp

調査の目的

- ・京都府・大阪府内における小学校・中学校・高等学校の教職員の性的マイノリティに関する意識調査を実施
- ・性的マイノリティおよび性の多様性に関する学校教育の現状と課題を明らかにする

研究チーム

- リーダー：風間孝(中京大学教養教育研究院教授)
- 専任研究員：堀江有里(世界人権問題研究センター研究員)
- 嘱託研究員：釜野さおり(国立社会保障・人口問題研究所第2室長)
- 嘱託研究員：熊本理抄(近畿大学人権問題研究所教授)
- 嘱託研究員：水野英莉(流通科学大学人間社会学部教授)

調査方法

(1)調査対象

①京都府:414校

A)小学校・中学校

京都市内:小学校161校・中学校72校のうち小学校41校、中学校20校を抽出(無作為抽出率25%)

京都市以外:すべての公立小学校(197校)・公立中学校(96校)

B)高校

京都府内のすべての公立高校60校(京都市立10校、京都府立50校)

②大阪府:306校

大阪府・大阪市内の人権教育研究団体(大阪府人権教育研究協議会、大阪市人権教育研究協議会、大阪私立学校人権教育研究会)に加盟する学校306校

(2)送付数:3600通

各校5通ずつ(管理職、人権教育担当教職員、生徒指導担当教職員、養護教職員、採用年度の最も新しい教職員)

①京都府:414校×5通=2070通

②大阪府:306校×5通=1530通

回答方法および回収状況

(1)回答方法

調査票に記入し郵送回答、ウェブ回答のいずれか

(2)有効回収数:1484通

(ウェブ回答:京都366通、大阪340通;

郵送回答:京都335通、大阪443通)

⇒有効回収率:41.2%